

令和5年度第3回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査）

概要

日時	令和6年3月27日（水）14時00分から15時15分まで				
場所	大阪府咲洲庁舎24階会議室（大阪府が指定するWeb会議室）				
案件	1件				
審査委員	京都大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 教授	河瀬 元明（会長）			
（敬称略）	エタニティラボ 代表 中小企業診断士	岡崎 永実子			
	追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授	藤原 直樹			
	武庫川女子大学 経営学部 経営学科 専任講師	山下 紗矢佳			

【内容審査（7項目）】

- ・審査項目
 - 1 立地する事業所で実施する事業内容
 - （1）雇用の拡充
 - （2）生産性・効率性の向上度
 - 2 立地する事業所の機能・役割
 - 3 立地企業の経営基盤等
 - （1）経営基盤
 - （2）経営改善や人材育成等の取り組み状況
 - （3）事業実績
- ・加点項目
 - 今後に向けた取り組み

【1】大化工業株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

- （1）事業概要
 - プラスチックフィルム製造業の工場の立地
 - 立地場所／敷地面積／延べ面積
大阪府枚方市春日西町／7,348.87 m²／3,580.77 m²
 - 補助対象経費／補助金額
約6.90億円／30,000,000円
- （2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）
- （3）審査結果：補助事業者として適当であると認定
 - 審査方法
 - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）、また加点項目を3段階評価（3点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと（ただし、評価点は最大30点とする）
 - 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が**25.75点（30点中）**であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・今回の投資は、製膜・印刷一貫生産により、きめ細かな顧客対応能力の向上に貢献する。また、多様な生産拠点による安定供給、輸送コスト・環境負荷の減少、脱炭素化、プラスチック再生など、新たな経営課題解決にもつながり評価できる。
- ・堅実な経営をされている印象を受けた。新工場設立が生産量の増加や生産工程の改善にとどまらず、新事業展開や新たな研究開発に向けた取組の拠点として活かされるようになることにも期待をしたい。
- ・決算や財務状況の推移から、堅実な経営状態であることは明らかである。既存設備と同等の新規設備の導入で生産能力を1.6倍に向上させる計画は堅実である。これまで有償譲渡していた端材を自社で再利用する計画は、カーボンニュートラルの観点から評価できる。将来のための新規事業開拓にも取り組まれることを期待する。
- ・一貫した製造工程による顧客への対応力やコスト競争力に強みがあり需要の拡大も見込まれていることから、今回の計画により、更なる業績の拡大につながることが想定されている。また府内の雇用促進にもつながる計画である。今後、イノベーション的なことへのチャレンジも期待したい。